

平成29年度予算に関する要望と平成28年度補正予算・平成29年度予算の内容

(公社)全日本トラック協会

要 望 事 項	内 容
<p>1. 高速道路料金の更なる引下げ</p> <p>2. ETC2.0によるサービス及び料金割引等の拡充</p> <p>3. 高速道路のSA・PA、道の駅における駐車スペースの活用及び整備・拡充</p> <p>4. 環境対策及び省エネ対策のための補助</p> <p>5. 交通安全対策のための補助</p> <p>6. 長時間労働抑制のための諸対策に係る補助・助成の拡充</p> <p>7. 北海道～本州間のフェリー等利用に対する補助・助成の創設</p>	<p>1. 平成28年度補正予算</p> <p>平成28年度第2次補正予算については、平成28年10月11日に国会で成立した</p> <p>平成28年度末で期限を迎える高速道路料金の大口・多頻度割引の最大割引率50%について、ETC2.0搭載車を対象に平成29年度末まで継続するための予算として105億円が措置された。</p> <p>荷役作業の効率化・省力化を図ることで、トラック運送業における女性活躍の推進及び生産性向上を実現するため、テールゲートリフター導入の補助事業の予算として、3.6億円が措置された。</p> <p>2. 平成29年度予算</p> <p>平成29年度予算については、平成29年3月27日に国会で成立した。</p> <p>トラック運送事業関係</p> <p>最先端の低炭素型ディーゼルトラック導入補助、大型CNGトラック導入補助(39.7億円)</p> <p>車両動態管理システム導入支援(40億円)</p> <p>環境対応車(CNGトラック、ハイブリッドトラック)普及促進(6.4億円の内数)</p> <p>事故防止対策(先進安全自動車、デジタル式運行記録計の導入等)支援推進事業(11.4億円の内数)</p> <p>長時間労働の抑制及び生産性向上に向けた取組(パイロット事業の実施)(0.43億円)</p> <p>道路関係</p> <p>効率的な渋滞対策(三大都市圏環状道路等の整備の推進、近畿圏の高速道路料金見直し等)の推進</p> <p>高速道路と民間施設を直結する専用インターチェンジの整備</p> <p>高速道路の休憩施設の活用による拠点の形成</p> <p>トラック輸送と空港・港湾等との輸送モード間の接続(モーダルコネクト)の強化</p> <p>電子データを活用した自動審査システムの強化による特車通行許可の迅速化</p> <p>4車線化、付加車線設置等による暫定2車線区間の安全性確保等</p>